

東京高等師範學校教授 理學博士 和田猪三郎先生編

定量化學講義

秤量編

洋裝美金參本全壹册
郵稅金參本全壹册
正價美金參本全壹册
折本全壹册
郵稅金參本全壹册
望素篇、ハロゲン篇、續刊

見よ、理化學界の潮勢は愈進みて其の精確なる實驗を基礎とし、是れが尋究を根本的に爲さずんば、已ざるの機運に際會せり。然り、從來定性的に止まりしもの、今や進みて定量的となり、是れが基礎たる諸大要素を慾求するの趨勢を顯出するに至れり。されば一日是れが學修に後れば、終に十年の憾を遺すの悔あるやも計られずといふべし。蓋し、本書は此の要求に應ぜんが爲めに、斯學に造詣最も深き著者が周密なる注意を以て編せるもの、苟も斯學に志すの士は速に一本を備へ、暇々として進み行く斯界の大勢に後るゝ勿れ。

群馬縣立前橋中學校教諭 白井傳三郎先生考案

試驗用對數表

附 三角函數

好評 折本全壹册
再版 正價金五錢
郵稅金貳錢

此の對數表は諸學校に於て試驗の際各生徒に授けて使用せしめんことを目的として編纂したるものなり。されば實用上に於て不便の點あり、されど其所に本表の特色と特點とは存するなり。特に表差及び比例部分を掲げざりしは、故らに生徒の機械的計算を避けて推理的計算如何を見んがためにして、編者が多年の經驗によりたるものなり。而して、本書に掲出せるは數の對數表、三角函數の對數表、三角函數表の三にして最も實用的に、輕便に、使用し得べく、用紙、印刷上の體裁等に就ても苦心を拂ひたり。

東京帝國大學 故坪井正五郎先生序 田寺寬二先生著

MAN and APES.

人

と

猿

三訂版正

洋裝美金參本全壹册
郵稅金參本全壹册
正價美金參本全壹册
折本全壹册
郵稅金參本全壹册
望素篇、ハロゲン篇、續刊

通倫理科書の刊行を望みて本書を歓迎す

此博士の「進化と人生」出でて、間もなく、こゝにまた此面白き書出てたり。本書も進化論の見地によれるもの、如きも全書の目的人と猿との比較研究をなし、以て人類が自然に於ける地位を知らしめんとせる者なるべし。本書組織の大要を擧ぐれば、緒論と本論とに分ち、本論は人類の分類、人類の比較、人類の起源の三章に分ち、更に猿類と共に猿類に屬する項目にて人と他の動物との關係を説き、人類の推論したるものなれば、教育學教授法等の書を讀み聞かれたるもの、眼にはまことに珍らしく面白く感ぜられたり。殊に第二章人類の比較中第三節心理上の比較は、殊に面白く感ぜられたり。理論の所は文章の簡明かつかしく思はるゝ節もあれど、本書を歓迎するものなり。専門家の見地よりせる細評の如きは吾人の知る所にあらず。……「教育學界」

現代の社會が相當の尊敬を拂ふべきの書

進化論の我國に紹介せられてより二十餘年、今や口に筆にこれを唱へざるはなきに至れり。斯の如きは脚に實すべき現象なるに相違なし。化論も其獲得したる内容に至つては頗る少からず、或は進化の概念すら明確ならざるに似たり。果して然らば、キケン説と進論とを混同して平然たる何ぞ怪しむに足らず。斯かる社會に於て、且必要にして効果あるは何人も了解せらるべき通俗的著書に若くは進論の光風近時の事業の如き能くこの要求に應じたるものといふべし。……「北國新聞」

吾人は如何にして現在の吾人となりしか

人とは如何なるものぞ！人は始めより人なりしや。人と猿とは如何にして分れしや。人は何故に尾を失ひしや。人は何故に直立するに至りしや。人は何故に體手を失ひしや。……現今も尙有る人あり、毛人あるを知らずや。……「發行所附言」

光風館編輯所編纂

小學理科講義

三訂版正

上製美本全貳冊
色別別圖及び挿畫百餘幅
尋常五學年金壹圓四拾錢
尋常六學年金壹圓貳拾錢
郵稅各金拾貳錢

本書は新小學校令に準據し、主として小學理科教授用教員參考書として編纂せるものにして、其材料は適切、説明は懇篤、一々人生との關係を反覆説示し、務めて實物教授の目的に副はんことを期し、詳細を極めたるものなり。而して其編纂の要旨は左の如し。

纂編の要旨

一本書は、新道に於ける專門諸大家の意見と、各府縣教育家の研究せる細目とを基礎とし、初等教育者の多年の實際的経験を參照して編述せり。
一本書は理科教授上、一般に陥り易き點と、現時教育社會の要求とに鑑み、各題目毎に、特に目的・準備・觀察及び教授上の注意等の欄を設け、更に教授欄には其の要點を各項目に分ちて説明し、問々簡易なる實驗を加へ、終りに概括及び比較表を附したり。猶最後に參考の一欄を加へ現時學術界に於ける最新研究及び教授上參考となるべき事項を簡明に列記せり。
一其の挿畫は、なるべく普通筆記體に記載しある如き簡潔を書き、教授の際極めて必要にして塗板畫として標示し、且つ兒童にも筆記し得らるるものを選びたり。これ多く他に類を見ざる所なり。
一而して各項毎に附記せる其の概括及び比較表には、教授の要點を採擇して、其儘兒童筆記體に記入せしめん事を計り、又教授欄の說明語は、難澁なる術語を避け、成るべく兒童に了解し易き文句を選びたり。
一本書は其の題目を四十餘題となし、一題を凡一週二時間に配當し、以て教授の便を計り、又土地の状況により教授せんが爲めに補遺を加へ其の緊要なる事項を網羅したり。
是れ其の梗概なり。願くは本書によりて小學理科教授の萬全を期し得べけんか、宜なり、主義あり主張あり、責任を以て編されたる新著として賞讃を博しつゝあるや。

和田信二郎先生編

皇室要典

増補 上製美本全壹冊
紙數六百有餘頁
正價金壹圓五十錢
郵稅金十一錢

高く尊き我皇室の御事どもを國民教育の大任を帯べる教育家諸氏に語らんが爲めに出でたるもの、編者和田先生は多年文部省にありて命名あるの人、夙に勤王の志篤く、研鑽多年遂に本書を大成せらる。

■ 憲に畏きことなれども、本書は我が皇室に關する事にて一般國民の知らざるべからざるものを網羅し、之を次の各章に分ちて掲出したるものにして、卷末には詳細なる索引を附し、讀む者の利便を計り、恰も『皇室事彙』とも稱すべきものたらしめたり。
■ されば師範學校・中學校・高等女學校・小學校等苟も教育の任にある者は、必ず一讀を要すべく、以て國民教育の大本を確立し、皇室の尊嚴と、宇内に冠たる國體とを明確に印象せしめんことを切に望むものなり。
■ 殊に國定教科書を初め、中等諸學校の教科書に皇室に關する材料多き折柄之等を最も完全に教授せんには、教師たるものは皇室の内容を最も詳細に知悉し居らざるべからず、是れ實に本書が切實に必要な所以なり。

内容の梗概

| | | |
|--|--|--|
| 第一章 御系圖 (御歴代略系、皇室御系圖、皇室ト宮家、皇室繼承御願、各宮家御系圖等) | 第五章 御名・御璽 (御諱・御名ノ文字ナ名乗ルコト、御歴代御諱號ノコト、御傳來ノ御璽、石材及ビ金材ノ御璽、寸法) | 第十章 憲法・公式令・軍令に關する制 (細目ハ略ス) |
| 第二章 宮 城 (皇居圖面、宮殿名稱、各御用邸、御獵場、御料牧場等) | 第六章 御肖像・御紋章 (御影・勅語標本の奉還方、御肖像取扱心得、皇族の御家紋等) | 第十一章 皇室典範 (細目ハ略ス) |
| 第三章 旗章・行幸啓 (御旗章、御齒) | 第七章 皇室費 (細目ハ略ス) | 第十二章 皇室典令 (祭祀令、登極令、攝政令、立儲令、親族令、外諸令) |
| 第四章 禮 式 (文官拜禮敬禮式、學生徒敬禮方、陸軍禮式海軍禮式等) | 第八章 皇 族 (親王家、諸王家、皇族列次、王族、公族等) | 第十三章 官 制 (宮中ニ關スル諸官制ヲ掲グ) |
| | 第九章 罪 (細目ハ略ス) | 第十四章 雜 (元號、實所、御璽、皇親、御祭文、紀元節、天皇節、國旗掲揚法、君ガ代ノコト、萬歲ノコト、稱呼、御義、皇室ニ關スル敬語) |

宮内大臣從二位勳一等 伯爵 渡邊千秋閣下題
樞密院副議長正二位勳一等伯爵 故 東久世通禧閣下序
宮内省御歌所主事從五位勳四等 阪 正臣先生序
前宮内省圖書 村松清陰編
察編修課員

明治勅題歌集

宮中歌御會始式次第并詠進者心得

三増版訂
上製美本全壹冊
正 價 金 壹 圓
郵 稅 金 八 錢

天寛台の榮を賜ふ

内 容

毎年一月宮中歌御會始に於て洽く一般國民の詠進を許させ給ひ、預選歌をも披講に加へさせらるゝ事は、實に明治聖世の賜にして、吾等國民の最大光榮として恐懼措く能はざる所なり。本書は即ち此の崇高壯嚴にして古雅なる歌御會始式次第を詳述し、且つ詠進者の心得を説示して、新年歌御會の創始より本年に至るまで御前に於て披講せられたる歌のなべてを收め、汎く一班に大御心の尊さを知らしめ、又長へに此の盛典を傳へんとするものなり。其の内容は左の如し。

宮中歌御會始式次第 歌御會始式定目：同式場々所：役員の名稱及び各自の任務：勅題發表期：詠進の歌撰擇の方法：奉行式場の整理：式場の編解：披講の順序：披講の作法：御製を始め奉り預撰歌に至る披講の回数：預撰者への御沙汰書式のこと：詠進歌取扱方のこと

詠進者心得 歌御會を始めさせ給ひし年のこと：判任官に至るまで詠進許させ給ひし年のこと：一般國民に詠進許させ玉ひし年のこと：預撰歌御前披講のこと：詠進書式：雅號に就て：遠式に就て

歌纂部 明治二年より明治四十四年に至るまで、歌御會始に於ける御製御歌を初め御前に於て披講せられし歌の全部を掲載せり。

樞密顧問官 細川潤次郎先生序 故東宮侍講 文學博士 本居豐穎先生序 故從五位 文學博士 木村正辭先生撰

萬葉集美夫君志

再訂版正 和裝 紙入 頗美本
正 價 第一 帙 金 貳 圓 五 拾 錢
第二 帙 金 貳 圓 五 拾 錢
小包 郵 稅 各 金 八 錢

萬葉集美夫君志全部八卷これ國學の泰斗、文學博士木村正辭先生の撰む所、博士が碩學にして文字の學に精通せられ、殊に萬葉集に於て造詣最も深きは、既に世の普く如る所なり。由來萬葉は國文の基礎にして國歌の典範たり。然り其の雄渾にして天真、壯大にして而も爛漫たる所、古今を通じて其の匹儔を見ずと稱せらる。見るべし本書は博士が數十年來研鑽考究せられたる結果に成れるもの、其の用字の古音古義を闡明し、誤脱を校訂したると、引證該博明晰にして釋義の懇篤なることによりて、吾が國文學界を裨益することの頗る大なることを信ず。蓋し志あるの士が必ず架上に備ふべきの珍書なり。

横井也有翁著 文部編修 武笠 三生先校註

校 鶉

衣

再訂版正

袖珍和裝頗美本全三冊
別圖也有翁自費數葉入
正 價 金 壹 圓 八 錢
郵 稅 金 八 錢

著者は熱心なる也有研究家なり、數年の努力の結果先づこの書を出す、鶉衣は趣を味ひ易くして字句の義を解き難きもの、阪本、佐々氏等の註釋あれど皆拔萃なり、全部に及ぼしたるは此書を以て嚆矢とす。明快的確たる快し、挿む所の也有の書亦とりく趣あり、附録に也有傳を添ふ。「萬朝報評」

「東京日々新聞」評 本書は也有のうづら衣を註釋せしものにして、其の俳文の妙味を味ふに便ならしめたるもの、辭句の説明簡にして要を得たるを喜ぶべし。由來故事の多きと言語の破格妙なからざるとは、本書をして稍難解のものたらしめたるが、讀者は今之によりて一讀釋然たるものあるべし。附録として翁の傳記と略年譜とを添えたるは、新道研究者に益する處多かるべく、數葉の寫生亦珍とすべし。

東京帝國大學文科大學教授 文學博士 萩野由之先生序 福島縣警成 高等女學校教諭 秋山角彌先生新著

楠木正成公

增補 上製頗美本全一册
口繪寫真版銅像・筆蹟二葉
正 價 金 七 拾 錢
再 版 郵 稅 金 六 錢

●國民の典型！

古來幾多の英雄豪傑は悉く史傳の感化を受けて居る、楠木正成公は就中吾等が永久に模範とし儀表とするに十分な典型である。公が生涯を通じ事實を以て示された精神の如きは、吾等が日常夢寐の間も失うてはならぬもので、子々孫々傳誦せしむべきである。國運發展に關しては、益々國民の奮勵努力を要する今日、著者が趣味ある叙述法を用ひ、正確にして詳細なる公の傳記を編し、以て國民精神上の饑渴を醫し、平時に於ける愛國心を養成し、終生の好伴侶たらしめようとしたもの即ち本書である。

●永久の儀表！

大分縣立竹田中學校教諭 白茅 田中常憲先生著

斷脚記

訂正 洋裝美本全壹册
紙數二百八十餘頁
再 版 正 價 金 五 拾 錢
郵 稅 金 六 錢

司馬遷は幽囚せられて龍門の史今に傳り、ミルトンは失明して失樂園東西に獨歩す。著者不幸鐵路に觸れて足を斷ち、悶々床に呻吟すること八旬、茲に「斷脚記」成る。……著者は温情に富める教育家にして、又熱誠ある文學者なり。一度筆をやる所文に詩に歌にその心情躍如たるを見る。あゝ「斷脚記」！汝はそも何を語らんとする？。無我の境に何を喚き、苦痛を忘れて何を叫ばんとする？。

光風館編輯所編

徒然草鈔本

訂正 和裝美本全一册
定價金三十拾五錢
再 版 郵 稅 金 六 錢

一本書は中學校・高等女學校及び師範學校等の上級に用ゐるべき教科書として、編纂せるものなり。
一本書は徒然草の中に就きて、教訓を説きたる章と、自然に對する趣味を論じたる文とを採り、尙原文に多少の取捨を施したり。
一生徒をして文意を了解し易からしむるやう適宜句讀を施し、又古來一定の讀方ある語には假名を附したり。

一教授の妨とならざる程度に於て、頭註を施せり。
一本書拔萃の順序に従ひ、番號と題目とを設けて學習者の便宜を計れり。

東京高等師範學校教授 吉田彌平先生 共編
東京高等師範學校講師 三矢重松先生

現代文鈔

訂正 和裝美本全壹册
正 價 金 四 拾 五 錢
再 版 郵 稅 金 六 錢

現時の文章混沌錯雜にして歸する所を知らずと云ひ、或は百花爛漫として美を競ふと云ふ、今茲に其の可否を論ずることをなさず、唯此等の文を講評する要あるは萬人の齊しく認むる所なるに、之に適當せる書なきは學界の不備と云はざるべからず。本書は此の缺を補はんが爲めに編纂せるものにして、現代名家の手に成れるものうち、其の文と其の想と之れを慎重に選擇採録せるものなり。蓋し現代の粹を蒐めたる文集として中等以上の諸學校の教科書となすべく、又一般文界の模範たるべきものなり。

光風館編輯所編

△文部省檢定濟▽

徒然草鈔本

訂正四版

和裝美本全一册
定價金二拾八錢
郵税金六錢

益軒文鈔

新刊

和裝美本全一册
定價金二拾八錢
郵税金六錢

方丈記講本

新刊

和裝美本全一册
定價金拾三錢
郵税金四錢

花月草紙鈔

新刊

和裝美本全一册
定價金二拾五錢
郵税金六錢

常山紀談鈔本

新刊

和裝美本全一册
定價金二拾八錢
郵税金六錢

十六夜日記講本

新刊

和裝美本全一册
定價金拾六錢
郵税金四錢

東京高等師範學校教授 兒島獻吉郎先生編

△文部省檢定濟▽

日本外史鈔本

新刊

和裝美本全一册
定價金二拾二錢
郵税金四錢

十八史略鈔本

新刊

和裝美本全一册
定價金三拾二錢
郵税金六錢

論孟鈔本

新刊

和裝美本全一册
定價金二拾八錢
郵税金六錢

史記鈔本

新刊

和裝美本全一册
定價金二拾六錢
郵税金六錢

孝經忠經教本

新刊

和裝美本全一册
定價金拾四錢
郵税金四錢

論語講本

新刊

和裝美本全一册
定價金三拾五錢
郵税金六錢

第五高等學校校長 文學士 吉岡郷甫先生著

口語對照語法

訂正 上製美本全壹冊
再版 正價金壹圓貳拾錢
郵税金 十二錢

我が國人は不幸にも文語・口語二種の言語を有し、文語を以て記録し、口語を以て記録し且つ對話す。正しく記録し、正しく對話せんと欲する者は文語・口語兩者の語法を知得するを要し、兩者の語法を知得せんとする者は又相互の關係及び區別をも了解せんことを要す。從來我が國語教育に於て、文語法及び口語法の對照教授の主張せらるるが故に、對照教授は唯人の主張に任せて、未だ實行せられざること久し。而もその組織の頗る難事たるが故に、斯界に大光明を與へたる人、未だ人の着手せざるものに着手して研鑽多年、今茲に此の書を公にする。以て文語・口語兩者の語法を知るべく、文語より口語の發達せる由來をも知るべし。國語を愛重するの士、國語教授に當れるの士は必ず一讀せられざるべからざる也。

東京府立第三高等女學校教授

芝野六助先生

大石市太郎先生

小野忠治先生合編

語法要覽

訂正 新式折本全壹冊
再版 正價金四拾五錢
郵税金 六錢

▲文法一覽 ▲國語假名遣一覽 ▲送假名の注意 ▲字音假名遣一覽 ▲類字一覽 ▲正字・俗字一覽 ▲借字・別體・變體一覽
▲總べてのものを表に作つたのが本書の特色である。而も極めて巧妙な、分り易い、記憶し易い表としたのが特色である。多年實際教授の経験の上から來た、工夫された新案である。中等諸學校の國語科に於て、最も困難を感ずるものは語法の教授なり、從て生徒自身か嫌厭するものも亦語法の時間なり。これ蓋しその教授の上、取扱の上、適切な方法なきを以てなり。本書は即ち著者多年教授の経験が生み出したるものにして、一々これを表示して學修に便せしめたるものなれば、これを各自に持たしめ、以て運用の自在を得せしめれば、尤も簡易的確に語法の教授を完全になし得べく、生徒も又興味を以て語法上の知識を會得し、理解すること容易にして、而も記憶に便なること恐らく理想に近きものなるべし。

文科大學教授 文學博士

上田萬年先生序

木場喜一郎先生

山田寅之助先生合著

國語便覽

訂正 上製美本全壹冊
六版 正價金四拾錢
郵税金 六錢

内容は整然 完備、裝釘は携帯至便なり。

本書は主として師範學校・中學校・高等女學校の生徒の國語科參考用書に充てんが爲に編述せるものなり。故に國語科研究上或は教授上、苟も必要なる資料は悉くこれを網羅し、且、之に關する確實なる知識を得せしむべく、適切な實例を列舉し、平易なる普通の文によりて説明を施したり。隨て國語科に關するある事項を知らんと欲する時、多くの書籍を参照して、一々之を検索するの煩を要せず、實に本書壹部によつて日常必須の事項を知悉するを得べく、而も携帯に便ならしめたるは、本書の特色とする所なり。されば本書は、教員諸卿が教授上の最良の參考書として、又學生諸君が研究上無二の良師友たるべきは何人も否まざる所なりと信ず。

東京高等師範學校教授

文學士 中村久四郎先生序

愛知縣女子師範學校教諭

平松折次先生編

國定漢字通覽

好評 上製美本全壹冊
定價金壹圓貳拾錢
郵税金 八錢

本書は、改正國語讀本全部の生字及び是に連繫せる漢字を五十音順によりて配列し、これが字畫の正俗略語を辨じ、音韻及び同訓異義を明かにし、進んで地名人名等の難訓を考證し、附録として假名付文字全部を表示したるものにして、其の編纂最も丁寧懇切を極む、實に讀本教授上不可缺の良書なり。

●「教育の實際」評 本書は國定尋常小學讀本十二冊中にあらはれたる生字千三百六十字及び之に連繫せる普通文字を集め、之が音訓・正・俗を辨じ、尙讀本中の假名付文字を附録とし、畫引及び字音引の二部に分ちて何れからも探し出せる様にしてある。されば、教師の參考にもなれば、又兒童復習用として用ひられる、極めて重寶な字書である。

東京文科 教授文學博士 芳賀矢一先生序 島岡亮太郎先生編

假名遣活法

訂正 洋裝美本全壹冊
七版 正價金 貳拾錢
郵税金 四錢

本書編纂の目的は現今我が國に於ける假名遣の錯雜紛亂せるものを正して、正確の文章を作るの良師友たらしめんが爲めなり、全篇を分つて三部とし、

- (一) 國語假字遣法にては、發音の變化より假字の混雜を來せる由來を究め、終りに紛れ易き文字を抽出して實地應用の便に供せり。
- (二) 字音假字遣法にては、漢字の傳來、發音の原由を説き、假字遣の爲め一種の簡便法を掲げ、終りに代表字を出して實用に便せり。
- (三) 送假字遣法にては、純粹の學理に偏せず、又漫に簡便を主とせず、折衷主義により、實地と學理とを合せて正簡を失はざらんことを期せり。

芳賀博士は本書序の一節に曰く、

島岡君一日余が寓を訪はれ、談たま〜假名遣の事に及びしとき、この書を取出して評してよと乞はる。余之を見るに、先づ音韻の種類より説起して、假名遣の辨別に及び、字音假名遣を説き、送り假名法をも、添へられたり。その説明には處々如何にかと傾かるゝ點もなきに非されども、從來の比ぶれば、一層精密になりたるのみならず斬新なる點もすこぶる多し、字音假名遣にいたりては、これとさらに苦心のあとを見ゆ、今一層の工夫によりて、更に完全に進むべきは、余が疑はざるところなれども、この書によりて、教ふる人習ふ人の便益を得んこと如何ばかりぞや。凡そ人は概括の理論を喜ぶものなれば學習の際にも、之によりて興味を増すこと多かるべく教育上に及ぼす効果に著しかるべし。世には假名遣の事をばさゝやかなる事の様にいひ放つもの多し、これらの人、もとより語も亦大方ならずともふものなり。云々と。

要するに、本書は實に我が國、假名遣の全部を包括して、更に餘蘊なく、師範學校中學校の教員、生徒及び小學校教師諸君の座右に供へ、讀書作文の友たらしむるに必要缺く可からざる良書なり。

長野縣上田高等女學校教諭 藤澤倉之助先生著

文語法と口語法の對照

訂正 洋裝美本全壹冊
三版 正價金 拾五錢
郵税金 四錢

一、本書は、中等諸學校師範學校等の學生及び小學校教員等に、國語文法上、時代の觀念を明かにし、文語と口語との區別を辨へしめんが爲めに編述したるものなり。

一、本書は各條の説明を簡明にして、其の練習に資し、以て教科書の缺陷を補はんことを期し、茲に活用語を採録せり、これ本書の價値ある所以なり。

一、其の記述の體裁は最も直截明晰にして直に要點を把握し得べからしめ、形容詞・動詞・助動詞との連絡・動詞と助動詞との連絡の五章に分ちて説述し、各活用表を挿み一目瞭然たらしめたり。

光風館編輯所編

國語假名遣一覽

折本全壹葉
正價金 八錢
郵税金 二錢

本表は中學校・師範學校・女學校等の參考用として作りたるものなり、收むる所は、國語假名遣一覽、國語假名遣概則、音韻の變轉、字音假名遣一覽、字音假名遣概則、漢字扁冠名稱略表、我國にて製作したる漢字等にして、之を簡便にして記憶し易からしめんが爲斬新なる考案により一目瞭然たらしめたり。

假名遣表

折本全壹葉
正價金 七錢
郵税金 貳錢

本表も同じく中等諸學校の學生のために、必要にして而かも記憶に困難なる假名遣を、最も容易にして且つ興味ある方法により記憶せしめんことを圖りて作りたるものなり。

岐阜縣立斐太中學校教諭 野中元三郎先生著

中等漢文學講義

訂正 再版 洋裝全一冊 定價金五拾錢 郵税金八錢

本書は著者が二十年間漢文を教授するに當つて實驗した事柄を書き輯めたもので漢文の法則をはじめ學習者の常に誤ること、初學者の困難する點、その他漢文を學ぶ上に必要な凡ての心得を極めて懇切に説いてある。當時の人情は兎角姑息に流れて、根本から實力をつけやうとしない風で、これが爲却て餘計な力を費して居る。本書は之を排して先づ漢學の素養を作り、而して應用の力を養ひ、一を推して十を知り得べきやうな編纂ぶりであるから、此の書を一讀すれば直ちに普通の漢文を讀み得るに至るであらう。微々たる一冊子ではあるが、漢學一般の知識は、本書が親しくその机邊におかるならば、容易に而も愉快に最も佳良なる成績を以て收得せらるゝであらう。

鹿兒島第一中學校教諭 山田麒太郎先生著

國漢文必携

洋裝美本全壹冊 定價金參拾五錢 郵税金四錢

斯くの如き内容を有し斯くの如き特色を有す
此の書は中等諸學校の生徒をして、國語・漢文科に對する素養を確實にし、且つ反復練習せしめ、兼ねてその筆記帖を整理せしめんがために編纂せるものなり。故に中學校・師範學校・高等女學校及び同程度之實業學校の生徒に最も適切にして、特に附録とせる部分は、國漢文の講讀・文法・作文等の筆記用に充て、至便にして而も効果多きものなるを信ず。而して其の卷頭に載せたる要項は左の如し。
第一章 國語假名遣……第二章 字音假名遣……第三章 送假名法……第四章 國語文法上の諸注意……第五章 漢字の正體と別體……第六章 國字……第七章 似字辨……第八章 同訓異義辨……

光風館編輯所編纂

國語問題提要

增補 洋裝美本全壹冊 定價金貳拾錢 郵税金四錢

本書は明治三十四年より大正三年までの間に施行せられたる、各高等學校・各高等工業學校・各高等商業學校・海軍兵學校・陸軍士官學校・海軍機關學校・高等農林學校・札幌農科大學豫科其の他の諸官立學校の入學試験に於ける國語科の問題を輯録したるものなり。されば其の問題の精撰せられたるは言ふまでもなく、これによつて各學校に於ける問題の傾向を窺知し得て、反覆研究せば、そこに何等かの秘鍵を悟り得べく、入學受験者にとりては研究上の指針となり、又中學校國語科教授上の參按となすべく好資料たるを得べけんなり。

光風館編輯所編纂

漢文問題提要

增補 洋裝美本全壹冊 定價金貳拾錢 郵税金四錢

屢に發刊して好評を博したる「國語問題提要」の姉妹書として、編纂せるものにして明治四十年より大正三年度までの間に行はれたる諸官立學校入學試験に課せられたる漢文の問題を蒐めたるものなり、各中學校の補習教科書として好適のものなり。

村松清陰先生著

現代歌學者之秘典

洋裝美本全壹冊 定價金拾五錢 郵税金二錢

東洋大學教授 高島平三郎先生序 宮城縣師範 學校主事 片桐佐太郎先生著

教育に應用したる心理學要覽

新式折本全壹冊
定價金 六拾錢
郵税金 八錢

最近心理學の發達進歩は、誠に顯著にして百花妍を競ふの觀あり。從て各方面の専門的研究の良書も亦頗る多からざるに非ず。唯其の穩健にして進歩せる學說を教育の實際の上に接觸せしめたる簡明なるものに至りては、其の數其だ乏しく、蓋し現時教育界の一缺陷たり。

高島教授は親しく本書を手にして曰へらく……師範學校の教科に心理學が重要な地位を占めて居るのは、人を教へる者が人の心、就中兒童の心の状態を知つて居ることの必要なるが爲である。併し師範學校に於ては、たゞほんの初歩の概念を興ふるに過ぎぬ。それでも此の學の必要を感じる者は、自分が之を學ぶにも心理學の原理を應用して、力めて有効に力めて徹底的に之を理解せねばならぬ。さうすれば一冊の教科書を學んだだけでは將來非常の利益を受けることであらう。

かくするには如何にしたら良いかといふに、第一には具體的の適例を一々によく心に取り入れることである。薄い教科書はどうしても記事が抽象的になる、それを充たすに具體的の事實が無ければ、密によく覚えられぬのみならず、徹底した知識にならぬ。第二には教科書に記されたことを一目瞭然たらしめるやうに表を作り、之に由つて屢々その内容を心の中にくりかへし考へることが必要である。かうすればよく全體を把握することが出来て概念が偏らぬであらう。本書は多年師範學校に於て心理學を教授した經驗に基き、上述の事項を應用せしめる爲めに、公にされたものである。余は、この要覽が教師及び學生に大なる便益あることを信じ、喜んで此の書を廣く推賞したい……と。

然り。本書は冗漫を避け簡單明瞭を主とし、高遠ならざるも實際に適切ならしめ、大部ならざるも内容の充實を期圖したるを以て、必ずや實際教育家の興望に背かざるべきを信ず。

宮内省御歌所主事 阪 正臣先生書 ▲文部省檢定済

女子消息帖

再訂正 折本全 貳冊
定價各金 貳拾五錢
郵税金 四錢

本書は、高等女學校の補習科用として、最も實際的にして日常必須なる書翰文をものし、其の書翰文に於ける一種の趣味を會得せしめ、併せて書道のたしなみを十二分ならしめんと欲して、編纂せる最新の消息帖なり。

書翰を網雅優麗に書くは、淑女として必ず具備すべき要件にして、文字の巧拙はやがて大に其の人の品格にも關すべければ、ゆめ忽せにすべからざるものなり。

然るに書翰文の手本として既に刊行せられたるもの尠からず、而も其多きは作文書たるが如く、或は手本としても書き振り宜しさを得ざるものあり、眞に手本として適當なるものなきは世の一般に遺憾とする所なり。

本書は即ち此缺陷を補はんが爲めに著せるものにして、書翰文として文字の書き方より其形式に至るまで、總て必要なる事項を網羅して遺す所なし。

而して筆者は當代の名家として各内親王宮殿下に奉仕せる、御歌所主事阪正臣先生なれば其可否は言ふを要せず。實に本書は學校用として勿論又家庭用として極めて適切なるものなり。

女子學校及家庭用習字帖
………◁特色の内容▷………

山口高等商業
學校教授

奈倉次郎君

文學士

葛西又次郎先生共譯

ネスフィールド氏 英文典直譯註釋

| | | |
|-----|----|-----|
| 第壹卷 | 正價 | 金拾五 |
| 郵正 | 稅價 | 金貳 |
| 第貳卷 | 正價 | 金參貳 |
| 郵正 | 稅價 | 金拾 |
| | | 六拾 |
| | | 錢 |

東洋印度人を目的とせるネスフィールド氏の文法が、同じく日本人の歡迎する所となれるは理の當に然るべきものありとす。况んや又現今廣く教科書として採用せらるゝに於てをや。されば同氏の文法書を悉く詳解して世に示さんとする希望も亦故なきにあらざるなり。曩に本書第三卷の講義録を公にし大に世の好評を博せり。今又茲に本書第一卷第二卷の直譯註釋を發行す。其の譯語の適切、註釋の懇切明快なるは今更に贅言を要せざるべし。希くは一本を座右に供へ、斯學研究の友とせられんことを。

前群馬縣師範學校主事 下平末藏先生著

奉公訓話

訂正 四版

| |
|---------|
| 和裝美本全壹冊 |
| 定價 金參拾錢 |
| 郵稅金 四錢 |

本書は奉公人、即ち番頭丁稚小守僕婢等のために日常の心得、務め方、人たるもの、道等を平易に説き記して讀ましめんと目的なり、即ち讀書の必要、正直、從順、勉強、儉約等の諸徳、言語、禮儀、親愛、衛生、及びその他の諸心得を、なるべく平易に具體的に説き示し、まゝ例話によりて感興を喚かむことをもなしたるが如し。奉公人を使ふ人々は、是非一冊づつを求めて可憐なる彼れ等に與へ、なほ又日々一頁づつを讀ましむべきなり。文章は口語體にて、すべて振假名附なり。『教育學術界』評

46
173

終